

学 校 概 要

【創立】 昭和34年4月1日(創立54年) 【校長】 枝迫大成 【副校長】 栗田智則
 【学級数】 一般学級 17 個別支援学級 3 計20学級 【生徒数】 637名
 【小中一貫ブロック名】 錦台中学校ブロック(西寺尾小学校・西寺尾第二小学校)

学 校 教 育 目 標

『自立貢献』～夢をもち努力をおしまず感動を共有できる生徒～
 (具体目標) 将来に夢を抱き、自ら学び続ける生徒を育てます。(知)
 挨拶・礼儀や社会のルールを重んじ、場に応じた行動がとれる生徒を育てます。(徳)
 自分や他の命を大切にし、健康な心と体をつくる生徒を育てます。(体)
 地域を愛し、自らができることを実践する生徒を育てます。(公)
 積極的に挨拶をし、また多くの人とのコミュニケーションを大切にしなが、視野を広げようとする生徒を育てます。(開)

学 校 経 営 中 期 目 標

- 教職員一人ひとりが本校学校教育目標の具現化を目指し、生徒とのふれあいを大切にし、教職員がお互いに豊かにコミュニケーションを図り、「チーム」として機能する活力ある学校づくりを推進します。
- 「わかる授業」「楽しい授業」の展開を通して、学ぶ意欲の向上と基礎基本の定着を目指します。
- 人権を尊重し、互いの良さを認め、「相手の立場になって考える」「相手へのいたわりや、優しさの心を持つ」生徒を育みます。
- 相談活動を充実させ、心身が健康な生徒の育成と安全な学校生活を目指します。
- 学校評価を生かし、保護者や地域と協働し、「まち」と共に歩む学校づくりを推進します。

学校経営
中期目標
設定理由

○学校教育目標の具現化を目指し、2年前に学校経営中期目標を設定しました。生徒たちは部活動や諸行事等では活発に活動している。さらに「自分で考える」「自分で判断する」「自分で行動する」「相手の立場になって考える」「相手へのいたわりや、優しさの心を持つ」生徒を育み、「自立貢献」という目標に限りなく近づく生徒を育ていきたい。

小中一貫教育推進ブロック目標

共通目標

○「あいさつは あふれる笑顔の あいことば」というスローガンのもと、学校・家庭・地域で協働して錦台中学校区に生活する子どもたちの健全育成を促進していきます。

自校の取組

- ブロック内での情報交換を基に児童生徒の実態把握
- 把握した情報から、「児童生徒に身に付けさせたい力」、「重点的な取り組み事項」等に関する共通理解の推進
- 合同研修会、授業研究会等の開催
- 6年生児童の授業見学、部活動体験等

共 通 取 組 内 容

1 確かな学力	2 豊かな心	3 健やかな体
○わかる授業・楽しい授業の展開と生徒の学ぶ意欲の向上を目指す。 ・指導と評価の工夫と改善 ・基礎・基本の徹底 ・教育相談等の個に応じた指導 ・学習習慣の定着 ・校内研修の充実、指導力向上	○人権教育を推進し、自他の生命を尊重し、お互いを認め合い、思いやりをもって責任ある行動がとれる生徒を育む。 ・道徳教育の推進 ・体験学習の充実 ・教育相談活動の推進	○生徒が健康で安全な生活を心がけるとともに、自己の体力の状況等を理解し、より効果的な運動習慣の確立や生活習慣・食習慣の改善を通して、自らが積極的に体力向上に取り組むよう指導する。 ・学校体育、学校保健の充実 ・食育の推進 ・性に関する教育や薬物乱用防止教育の推進

重 点 取 組 分 野

4 教育課程・学習指導	5 児童・生徒指導	6 地域連携
・生徒が学習に対する興味・関心を広げ、あきらめず粘り強く学ぶ姿勢を身につけ、主体的に基礎的、基本的な知識を習得できるような指導がされています。 ・各行事や特別活動・総合・道徳・部活動等を通し、知徳体のバランスのとれた生徒の育成を目指した指導が行われています。	・あいさつ運動を通し、生徒同士でコミュニケーションをしっかりとることができています。 ・生徒の活動について全職員で共通理解のもと、健全な育成に努めています。	・学校説明会や懇談会、学接地連総会等で学校の経営方針を説明し、教育活動への理解が深まり、必要な協力が得られています。

人 材 育 成 ・ 組 織 運 営

- メンターチームを校務分掌に位置づけ、経験の少ない教職員を育成することで、経験の豊かな教職員も自らを研鑽し、リーダーとしての資質を身に付けるようにします。
- 教職員の力を高めるために、研修の充実につとめます。
- 機能的な校務分掌や情報機器の活用により、効率的な組織運営を進めます。
- 教職員の能力、個性を生かすと同時に、チームとして連携、機能する組織の活性化を図ります。